

事業名	太田市森林環境教育・自然観察会支援事業		
事業実施主体	太田市教育委員会	市町村名	太田市
事業成果	太田市内の中学生を対象とした赤城山での自然観察会等を通して森林環境の大切さを学んだ。		
参加人数	1723名	事業費（補助金）	3,000,000円（3,000,000円）

自然観察会



事業名	秋の緑化イベント ～身近な緑を楽しもう～		
事業実施主体	館林市	市町村名	館林市
事業成果	地域の存在する古木の紹介と緑による森林環境教育により、森林環境の重要性を伝えることができた。		
参加人数	40名	事業費（補助金）	42,466円（42,000円）

古木の紹介



森林環境教育



森林の公有林化 実施報告

【◆事業概要◆】

事業区分	森林の公有林化
細区分	水源地域の公有林化、平地林の公有林化
補助率	補助率1/2以内(ただし、上限10,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	水源地域の森林の公有林化や平地林を公有化あるいは造成しようとする市町村の取組を支援する。

【平成28年度の実績】

2, 645千円

- ・ 購入面積 水源林 3.1ha (川場村)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	1
採択箇所数	1
事業費	6,351,130
うち県民基金	3,175,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	(1)
実施箇所数	(1)
《決算額》	
事業費	6,351,130
県民基金	(2,645,000)

【繰越状況】

区分	合計
市町村数	1
実施箇所数	1
《決算額》	
事業費	2,646,303
県民基金	530,000

※括弧内は概算払もしくは繰越の箇所を示す。

【成果】

- ・ 公有林化された森林については、今後適切な管理により公益的機能が高度に発揮される森林として管理されることが期待される。

【課題・方向性】

- ・ 購入した森林について、市町村が策定する市町村森林整備計画に公益的機能別施業森林として位置づけ、適正に管理されるようサポートする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

--	--

【事業実施者・地域住民等からの意見】

--	--

森林の公有林化 事業一覧

年度	新規 継続	市町村名	細々区分	事業名	事業実施者	事業概要	計画採択		区分	実績			繰越		廃止		備考
							事業費 (円)	県補助金 (円)		事業費 (円)	県補助金 (円)	面積 (ha)	事業費 (円)	県補助金 (円)	事業費 (円)	県補助金 (円)	
H28	継続	川場村	水源地域水源 の公有林化	水源林公有林化	川場村	水源林の保全を目的とした森林の公有林化	6,351,130	3,175,000	繰越	(2,645,000)	(2,645,000)	(3.1)	6,351,130	530,000			
合計							6,351,130	3,175,000		(2,645,000)	(2,645,000)	(3.1)	6,351,130	530,000			

※括弧は概算払もしくは繰越の箇所を示す。

事業名	水源林公有林化事業		
事業実施主体	川場村	市町村名	川場村
事業成果	薄根川上流の放置された森林3.1haを購入し、公有林化を実施した(一部について繰越)。		
購入面積	31,756㎡(一部繰越)	事業費(補助金)	6,351,130円 (3,175,000円)

購入場所
川場村大字谷地字黒岩地区



独自提案事業 実施報告（1/2）

【事業概要】

事業名	里山元気再生事業	実施主体／市町村	高崎市
補助率	1/2以内		
採択の方	・森林整備後の管理体制が確保されていない時点で「荒廃した里山・平地林の整備」と同等以上の提案があった場合は、「管理体制の構築に努めることを条件」とし、各事業毎の補助上限額の1/2以内、同一地につき1回限りを条件に独自提案事業として認める。 ・実施団体、箇所、面積を確定した後に補助金申請を行うこと。		

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造 ぐんま緑の県民税の趣旨・目標に照らし、適切な事業内容であると認められ、かつ第三者機関である「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得たものであること。
事業の目的	野生動物の隠れ場になっている竹林や里山林等の伐採・下刈を行い、緩衝帯を設ける地域活動に対して補助を行い、野生動物被害の低減を目的とする。

【事業の採択状況】 単位：円

事業費	6,000,000
うち県民基金	3,000,000

【実施状況】

事業成果	市内の16の地域団体により、野生鳥獣の隠れ場となる竹林等の伐採・下刈りを行い、緩衝帯を整備して、野生鳥獣被害の低減が図られた。		
面積	2.27ha (森林1.01ha、竹林)	事業費 (補助金)	4,728,067円 (1,163,000円)

市内の16の団体が間接補助事業として実施。



大八木町区



箕郷町白川辻区



吉井町第13区

【課題・方向性】

- ・多くの自治会や団体が森林整備に取り組めるよう指導を行い、引き続き地域の取組を支援する。

【実施状況の評価(評価者：県)】

- ・採択された計画内容に基づき、適正に実施されている。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・補助金を活用することで、鳥獣害被害防止のための緩衝帯作りができた。